

## ■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】： 事故多発区間における安価で効率の高い交通安全対策
【背景・課題】： 分合流部やカーブ区間など事故多発区間では、従来から、注意喚起のための路面標示、看板、LED警告灯、ETC2.0（ITSスポット）など設置してきたところ。一方で、全体的な事故件数は減少傾向であるが、事故多発区間は様々な要因が重なり、大きく減少しているといふ難しいのが実情である。
【ゴール・目標】： LED警告灯やITSスポットなどの設備投資を行わず安全対策に資する技術（新たな路面標示、側壁への表示等）が実用化されていることにより、事故減少に繋がっている。
【実現イメージ】： ・最高レベルの安全性と走りやすさが備わった高速道路 ・お客さまのニーズに応じたルート選択や定時性を確保 ・災害発生時のお客さまの安全確保とライフライン機能維持 ・関西の都市構造の強靱化
【取組み】： ・プローブ交通情報等を活用した交通制御による交通事故・渋滞の削減 ・車両や個人のICT機器と連携した避難誘導方法や交通制御手法を確立
【対象設備－対象構造物】： ・防災・安全－安全対策
【業務分野】： ・交通

(2022年9月時点)